



2026年2月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ネ ッ ト ス タ ー ズ
代 表 者 名 代表取締役社長CEO 李 剛
(コード番号: 5590 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 安 達 源
TEL. 03 - 6661 - 9884

通期連結業績予想値と実績値との差異並びに個別業績と前期実績値との差異 及び営業外収益、法人税等調整額の計上に関するお知らせ

2025年11月11日に公表した2025年12月期の通期業績予想値と本日公表の実績値との差異並びに個別業績と前期実績値との間に差異が生じましたので、お知らせいたします。また、2025年12月期連結会計期間（2025年1月1日～2025年12月31日）において、下記の通り、営業外収益及び法人税等調整額（益）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値と実績値との差異

(1) 2025年12月期 連結業績予想値と実績値との差異 (2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,850	百万円 233	百万円 390	百万円 276	円 銭 11.91
今回実績 (B)	4,788	293	443	485	28.99
増減額 (B-A)	△61	59	52	208	—
増減率 (%)	△1.3	25.3	13.5	75.3	—
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期)	3,902	△84	△22	△37	△2.25

(2) 差異の理由

売上高は、DX関連の開発に伴う売上が一部減少したものの、加盟店の拡大や既存加盟店における決済利用の増加等により決済取扱高が2兆1,228億円（計画対比6.1%増）となったことを背景に、決済関連サービス売上は4,310百万円（計画対比6.2%増）と堅調に推移し、概ね予想どおりの結果となりました。

営業利益及び経常利益は、人件費や減価償却費等を中心とする一般管理費が当初計画を下回ったこと等により、業績予想を上回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記要因に加え、当社において法人税等調整額△144百万円を計上したことにより、当初予想を上回る結果となりました。

2. 個別業績と前期実績値との差異

(1) 2025年12月期 個別業績と前期実績値との差異 (2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 3,901	百万円 △88	百万円 △28	百万円 △41	円 銭 △2.47
今回実績 (B)	4,783	237	391	457	27.36
増減額 (B-A)	881	325	419	499	—
増減率 (%)	22.6	—	—	—	—

(2) 差異の理由

売上高は、新規案件の獲得や市場拡大に伴い、加盟店基盤の拡大及び既存加盟店におけるキャッシュレス決済利用の増加等により決済取扱高が2兆1,228億円（前期比33.2%増）となったことを背景に、決済関連売上が4,310百万円（前期比30.0%増）となり、売上高全体の成長に寄与しました。

営業利益は、人件費を中心とする販売費及び一般管理費が前期比で増加したものの、利益率の高い決済関連売上の大幅な増加により売上総利益が拡大したことを主な要因として増加しました。

また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、上記に加え、金利の上昇に伴い受取利息を141百万円計上したことにより、各段階の利益はいずれも前期実績を上回る結果となりました。

3. 営業外収益の計上について

当社における銀行預金に係る利息の受取に伴い、当第4四半期連結会計期間において受取利息32百万円を営業外収益として計上いたしました。これにより、当連結会計期間における受取利息の累計額は142百万円となりました。

4. 法人税等調整額（益）の計上について

当社は、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、回収が見込まれる部分について繰延税金資産を認識することとし、法人税等調整額△144百万円（△は利益）を計上いたしました。

以上